

第5回議会報告会

第一部 各常任委員会からの報告

質疑・意見一覧

議会報告会次第

平成30年10月13日（土）午後2時から



1 開会・司会 蓮見 節 議会改革推進協議会 副会長

2 あいさつ 岡村行雄 議長

3 概要説明 福田武彦 議会改革推進協議会 会長

4 第一部 議会報告

(1) 総務常任委員会報告

委員長 藤倉 憲 副委員長 福田武彦

委員 岡村行雄 ・ 斎藤雅男 ・ 坂本俊夫 ・ 蓮見 節 ・ 堀越博文

(2) 厚生文教常任委員会報告

委員長 中島慎一郎 副委員長 米山真澄

委員 井上聖子 ・ 大内一郎 ・ 大滝きよ子 ・ 高田正人 ・ 浜田敦子

(3) 経済建設常任委員会報告

委員長 利根川敬行 副委員長 石井祐一

委員 大山義一 ・ 鈴木健一 ・ 関口武雄 ・ 根岸成直 ・ 吉田英三郎

5 質疑

6 第一部閉会 高田正人 副議長

7 第二部 議員との懇談

写真の撮影、録音、録画はご遠慮ください

総務常任委員会報告事項

東松山市の防災について

1. 福岡県朝倉市の視察から学ぶこと

- ① 朝倉市の概要
- ② 平成29年7月九州北部豪雨災害
- ③ 朝倉市の対応
- ④ 朝倉市議会の対応
- ⑤ 市民の対応
- ⑥ 復旧・復興の取組み
- ⑦ 視察から学ぶこと・今後の当市の取組み



厚生文教常任委員会報告事項

1. 教育・子育て支援について

(1) 小中一貫教育特認校制度について

(2) 科学教育の強化について

(3) 子育て支援について

2. 高齢者福祉について

(1) 地域福祉の充実について

(2) 地域包括ケアシステムについて

3. 地域医療について

(1) 市民病院について

経済建設常任委員会報告事項

*平成30年度予算に関わる事業計画について

1. 都市整備について

- (1) 高坂駅東口第一土地区画整理事業の進捗について
- (2) 松高前通線整備事業について
- (3) 駅前東通線整備事業について
- (4) 市の川区画整理事業について

2. 産業振興

- (1) 藤曲産業団地への企業進出について
- (2) 創業支援センターについて
- (3) がんばる企業応援条例について

3. 観光事業

- (1) まなびのみち事業について
- (2) くらかけ清流の郷について
(川のまるごと再生事業、バーベキュー場の整備等)
- (3) 化石と自然の体験館について
- (4) 東松山ぼたん園整備事業について
- (5) 東松山市農林公園整備事業について

4. 農業の取組について

- (1) 農業の大規模化と担い手の育成について
- (2) 戦略作物育成事業について
- (3) 農作物の特産品の生産拡大と6次産業化について
(梨ゼリー、ポロール等)
- (4) いなほてらす(農産物直売所)について

○ 質疑、回答

問 市長の市政運営に疑問がある。市の財政は市税や国の交付金などで運営されており、市役所自体は一銭も稼いでいない。市には、少数の高額納税者に対する配慮が無い、3件について申し上げたい。

① 4月から法人市民税が増税となった。確認をしたところ、中小企業でも法人税400万円以上納税している企業は増税になるとのことであった。これは中小企業の芽を摘むものである。高額納税者は他の税金も支払っている。東松山工業団地では、東松山市と滑川町の所在の違いで、3%も差がついてしまうことになる。

② 固定資産税の評価については、街中でも土地活用が大変な状況であり、田舎でも固定資産税が沢山きてしまう。

平成27年度から相続税の控除額が減った。国はバブル以降、土地の評価が減ったから控除額を40%減らしたとしているが、調べたところ市町村の土地評価は20%しか減っておらず、実質20%増税である。これを解決するには、市の固定資産の評価を下げるしかない、資産の評価は不動産鑑定士が行うものだがこれを安くすべきだ。企業誘致で固定資産税が増えたのであれば、市民に還元してほしい。

③ 東松山インターチェンジ付近のキジ山の開発について、開発業者の資料では、坪25万円「建築条件付」となっていた。このようなものは見たことがない、嵐山町の工業団地は、坪7万5千円「建築条件なし」である。これらの事は、市長に文書で申し入れたが、受け入れられなかった。市議会でも検討し、この対応が正しいか検証してもらいたい。この内容について、文書で提出する。

答 提出された文書については市議会で検討する。

問 総務委員会から福岡県朝倉市の視察についての報告があったが、これは視察に行かなくてもインターネットで調べれば分かることではないか。

答 いつ災害が起こるか分からないという中で、被災自治体での行政の対応、議会の対応を現場に行き調査することは議員の仕事の一つと考えている。

問 厚生文教委員会から地域包括ケアシステムについての報告があったが、2025年に東松山市の75歳以上の人口は何人になるのか。

答 現在の75歳以上の人口は、約1万人であるが、これが2025年には1割以上増え、その一方で生産年齢人口は3割減ることが想定されている。これにより、税収の減少、介護費の増加も見込まれるところである。

問 経済建設委員会の報告は、行政が市議会に報告しているような内容に聞こえる。報告事項について、市議会議員としてどのようなことを問題と考えているかを知りたい。

答 個々の事案について、議会で問題としてきたが、報告からは除いてしまった。個別の疑問点については議会に直接質問して欲しい。

問 厚生文教委員会の報告で梶田先生が市の出身だから、理科教育に力を入れるとあったがどういうことか。

答 いままでも理科教育に力を入れていなかったわけではないが、東松山市出身の梶田先生がノーベル賞を受賞した機会をとらえて、全市的に理科教育に力を入れていきたいということで始めたものである。

問 東松山市は災害が少なくて良いと思っているが、その一方で災害のシミュレーションは十分ではないとも思っている。総務委員会は福岡県朝倉市の災害についての視察を受けて、東松山市にどのように生かそうと考えているか、また3.11以降、被災地の管理については女性の力が有効との意見がある。朝倉市の現状はどうであったか。

答 視察に行つて自然災害は予期できないものがあり、東松山市も例外ではないことを実感した。東松山市でも地区ごとにマニュアルを作成するなど市民の意識も変わってきている。当市の防災対策について議会としても取組んでいきたい。

被災地では、自衛隊などの組織だけではなく、地区の女性が活躍しており、男性には無い女性の視点は重要なものと考えている。

意見 全体の質問において、質問を制限するようなことはやめて欲しい、前回の報告会の際も同じような依頼をしたが改善されていない。